

10月28日のウクライナ情報

安齋育郎

①【ウ軍兵士は向精神薬を積極的に服用＝ウ軍捕虜証言】(2024年10月24日)

「彼らが錠剤を服用していることに気づきました(中略)カプセル剤です。たくさん服用しています。すると、彼らは目を半分閉じた状態になり、その後、エナジードリンクを大量に飲むようになります」
ロシアの捕虜となったウクライナ軍兵士のウラジーミル・グラチョフがスプートニクに語った。#スプートニクのビデオ

ウクライナ軍での薬物使用に関する情報は何度も確認されている。10月初旬には捕虜となったウ軍兵士のアルチョム・カバノフがスプートニクに対し、軍の医療関係者らが兵士の「威勢を保つため」にウクライナ兵に精神刺激薬のアンフェタミンを投与していると語った。彼らは最初に薬物を無料で提供し、その後、兵士たちが薬物を購入せざるを得ない状態にするという。

また今年の初め、ウクライナ国防省は、同国軍の医療関係者が野外環境で医療を提供するために、薬物とその前駆体を使用することを許可したと発表した。

<https://x.com/i/status/1849460765469663652>



https://x.com/sputnik_jp/status/1849460765469663652?s=09

②BRICS サミットに出席した国連事務総長(2024年10月24日)

BRICS サミット開催中、プーチン大統領は各国の国家元首や国連事務総長らとの二者会談が目白押しで、ウクライナ外務省は「グテーレスさんはウチのスイス世界平和サミットを蹴ったのに、こっちは行くんかい」と涙目。すでに立派な「国際社会」ですけど、欧米はいつになったら素直にこれを認めるのかな。



https://x.com/jupiter_russia/status/1849182801502871797?s=09

③どこかウクライナの解放された地域(2024年10月24日)

いつもロシアの旗を振ってくれる男の子におもちゃを用意してきてくれたロシア兵士。必要な電池も。

<https://x.com/i/status/1849368438051049620>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1849368438051049620?s=09>

④BRICS 首脳会議の傍ら、アルメニアとアゼルバイジャンの交渉が本格化(2024年10月24日)

見てください！ 敵同士が大人のように対話している！

インドと中国が歩み寄り、今度はアルメニアとアゼルバイジャン……BRICS は外交をもたらす

<https://x.com/i/status/1849386458223685694>



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1849596577616453893?s=09>

⑤アメリカの旗がない～！(2024年10月24日)

BRICS サミット欠席したサウジのビン・サルマン皇太子が面会したブリンケンの背後に、アメリカの国旗が…無い！強烈なメッセージ。



<https://x.com/wangon2010/status/1849404420339138815?s=09>

⑥ウクライナ国内難民センター、有料に切り替わる（2024年10月25日）

「私達はずっと税金を払ってきた。バフムートなどから来た人達は全てを失った。今この暮らしに値札をつけるのですか？議員達は何かから給料もらってますか？あんまりだ。」

国内難民支援金送られてるはずなのに、国内難民は自腹。このブラックホールuA支援してもオリガリヒの贅沢が増すだけ。

<https://x.com/i/status/1849646585883529454>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1849646585883529454?s=09>

⑦【ロシアが孤立したのではなく、西側が「自己隔離」した＝専門家】(2024年10月25日)

ベルギーを拠点として活動する米独立系国際政治アナリストのギルバート・ドクトロウ氏は、スポーツニクに対し、24日までロシアで行われた BRICS サミットにコメントした。

ドクトロウ氏はロシアを孤立化させようとする西側諸国の試みにも関わらず、国際社会におけるロシアの影響力が高まっていることを印象付けたと指摘。25人以上の首脳級を含む要人が訪れた国際会議を「西側主要メディアも無視できなかった」と述べた。

また、サミットでロシアは議長国の立場を活用し、国際的な商品取引所や再保険の枠組み設立といった革新的な目標を推進。建設的なリーダーとしての役割を果たしたとの見方を示した。

「ロシアが孤立しているのではなく、西側諸国が自己隔離して、関係を断っているのだ。BRICSによる多極世界のメッセージは、ロシアに対する認識に確実に影響を与えるだろう」



<https://pbs.twimg.com/media/Gat-6vXoAAo1vq?format=jpg&name=small>

⑧リチャード・ウルフが語る！BRICSの台頭で米ドル崩壊？(2024年10月)

経済学者リチャード・ウルフが番組に参加し、ロシアがNATOの制裁を打ち破り、中国やBRICSと協力して米ドルの世界経済における支配的地位を深刻な危機にさらしていることについて議論しました。このビデオではそのすべてを詳しく解説しています。

<https://youtu.be/8PgJ4sSaZm0>



<https://www.youtube.com/watch?v=8PgJ4sSaZm0>

⑨ウクライナからルーマニアへの国境超えに成功したウクライナ人男性二人。「自由だ〜！」と叫ぶ(原伸一、2024年10月26日)

<https://x.com/i/status/1849960747947917750>



<https://x.com/GyotokuShogi/status/1849960747947917750?s=09>

⑩BRICS の報酬:ドルにとって最大の脅威。ロシア大統領が BRICS で謎の紙幣を披露 (2024年10月26日)

※安齋注:重要な映像ですが、英語です。

ロシアのカザンで開催された BRICS サミットで、象徴的な BRICS 紙幣が発表され、世界金融の将来についての議論が巻き起こった。この動きは、BRICS が西側諸国の金融構造への依存を減らし、より独立した経済システムを構築するための努力を強化していることを強調している。今後の動向に注目しよう。

<https://youtu.be/iWdSKvaNP4M>



<https://www.youtube.com/live/iWdSKvaNP4M>

①戦争を踏みにじるウクライナ国内の巨額腐敗が発覚…なんと検事総長まで加担していた!(塩原俊彦、2024年10月26日)

塩原 俊彦(TOSHIHIKO SHIOBARA)

評論家。1956年生まれ。一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了。学術博士。日本経済新聞社、朝日新聞社(モスクワ特派員)勤務を経て高知大学大学院准教授などを歴任。陸海空およびサイバー空間の地政学・地経学を研究。ウクライナ問題の第一人者。著書に『ウクライナ・ゲート』、『ウクライナ 2.0』、『ウクライナ 3.0』、『プーチン 3.0』、『復讐としてのウクライナ戦争』、『サイバー空間をめぐる覇権争奪』(いずれも社会評論社)、『ロシアの軍需産業』(岩波新書)、『「軍事大国」ロシアの虚実』(岩波書店)、『ビジネス・エシックス』(講談社現代新書)、近著に『ウクライナ戦争をどうみるか』(花伝社)や『知られざる地政学』(上下巻)

深刻化するウクライナの腐敗

ウクライナが腐敗の蔓延している国家であることは、一部の読者は知っているかもしれない。国際非政府組織「トランスパレンシー・インターナショナル」が毎年公表している国別腐敗度ランキングによると、ウクライナの昨年の結果は、180カ国中104位であった(2024年1月に発表)。なお、ロシアは141位だったから、ウクライナのほうが少しだけ「まとも」と言えるかもしれないが、中国(76位)、日本(16位)から見ると、明らかに見劣りする。

常識的に考えれば、ウクライナは戦争中なわけだから、国民一丸となって勝利をめざして戦っているように思うかもしれない。しかし、実際はまったく違う。むしろ、腐敗は深刻化している。なお、関心のある方は、昨年上梓した拙著『ウクライナ戦争をどうみるか』の「第三章第二節 腐敗国家ウクライナ」(119~137頁)において、この問題を詳述しておいたので、ぜひ読んでほしい。

10月に発覚した事件

10月4日、ウクライナ西部に位置するフメリニツキー州にある、保健省傘下の医療・社会専門家委員会(MSEC)のトップ、テチャナ・クルパとその息子アレクサンドルが、不正蓄財で摘発された。報道によると、搜索の結果、彼らの所持品から現金だけで600万ドル近くが発見された(下の写真(2))。

彼女は、事務所に10万ドルを所持していたほか、偽造された医療文書、『兵役忌避者』の名前入りリスト、架空の診断書を多数所持していたことが判明したという。彼らはフメリニツキー、リヴィウ、キーウに30の不動産、9台の高級車、4800万フリヴニャ(約115万ドル)相当の企業権利、フメリニツキーの公園内に約3000平方メートルのホテルとレストランの複合施設を、海外では、オーストリア、スペイン、トルコに不動産を所有していた。一族はまた、外貨口座に230万ドル近くを蓄えていた。

どうやら、2008年から地域医師会の主任医師として勤務し、与党「人民の奉仕者」の党员でもある彼女は、不正に障害者認定をして戦争忌避を手伝う代わりに、多額の金銭を得てきたのだ。10月7日、キーウの地方裁判所は、クルパを60日間逮捕する決定を下した。